

くるみつうしん **ぱらす**

No. 24
2018.7.1



グループホームひなぎく 家族会

社会福祉法人 淳邦会

理念 「想いをつないで、共に生きる」

社会福祉法人 淳邦会 〒712-8041 倉敷市福田町福田234-1

●特別養護老人ホーム のぞみ荘 ●ケアハウス オパール

●地域密着型特別養護老人ホーム のぞみ荘

●デイサービスセンター オパール ●倉敷市福田高齢者支援サブセンター

TEL (086) 450-1188 FAX (086) 450-1177

●オパール居宅介護支援事業所 TEL (086) 450-1189

●グループホーム ひなぎく

〒712-8041 倉敷市福田町福田281

TEL/FAX (086)450-3911

ホームページ

<http://www.jpk.or.jp/>

E-mail info@jpk.or.jp



この人へ歴史あり!

川崎百合子様 昭和4年6月9日生 89歳

略歴

倉敷市児島大島出身。女8人男2人の10人兄弟の長女として生まれた。結婚後4人の子供を授かる。



職員

たのですが、休日には野菜や果物の手入れや収穫をしていました。座右の銘や、よく使われていた言葉はありましたか?

家族

「他人に思いやり」です。

職員

最後に、ご家族の思いなどをお聞かせください。

家族

子供たちが思う事は、元気で少しでも長生きして欲しいことです。

職員 趣味や好まれていた事はどんなものがありますか?

家族 昔から花が好きで、花を植えたり、スカート等の服を作ったり巾着袋のような物を作ったりしていました。手先は器用でした。

職員 思い出に残っている出来事はありますか?

家族 主に仕事をしている事が多かつ

今回ご家族様には大変お忙しい中、インタビューに御協力頂きありがとうございました。今年入所されて20年が経つ川崎様です。のぞみ荘での、20年間のうちの写真を選出させて頂きました。右下の写真と真ん中の写真は職員と外出にいった時のものです。左下は毎月行っているフラワーアレンジメントでの一枚です。



編集後記

梅雨があけました。そしてそのあとに来るのは私自身得意ではない暑い暑い夏。毎日のように真夏日・猛暑日を超えましたというニュースを聞くたびに私はさらにへこんでいきます。熱中症にかからないよう自己防衛だけはしていなくては…。

みなさんは暑い暑い夏をどのように乗り切っていますか?良いアイデアがありましたらご一報ください。

柚木

思い出だより

～春満喫～

法人のホームページに掲載している、各部署のブログがあるのをご存じでしょうか。このコーナーではブログに掲載してある写真をピックアップして皆さんにご紹介していきます。法人のホームページはインターネットを使って「のぞみ荘」で検索してみてくださいね。

地域密着型特養



地域密着型特養4階で種松山公園にお花見に出かけました。
入居者・職員みんなで「乾杯〜!!!」
お花見弁当がおいしく、お天気も良かったのでさらにおいしく感じました。ただ残念だったのは…、今年は早く咲いてしまっていたので、肝心の桜がもうすでに散ってしまっていたことです。
しかし、八重桜は満開で綺麗に咲いていましたよ。



ケアハウス



今年の桜は例年より早く満開になりました。入居者の皆さんは、心ワクワクしながら種松山公園の桜を見にドライブに出かけました。公園では、桜の木の下で休憩をしました。

グループホーム



水島中央公園にお花見に行ってきました。お天気も良く暖かで最高のお出かけ日和☆公園内を散策した後は、一休みで桜餅をパクリ!!桜を眺めながら桜餅を...(笑)なんて考えてしまうのは職員だけでしょうか...



デイサービス



ふくろう会(家族会)を行いました。ご利用者、ご家族様一緒に参加され、普段のデイサービスでの様子などお伝えしました。ご利用者、ご家族様も一緒にレクリエーションやカラオケなどして楽しい一日を過ごしました。また、『踊り連 おひさま』の皆様が、うらじゃで披露する新作を踊っていただき家族会に花を添えてくださいました。



いっぽ、一步。

「いっぽ、一步。」は法人全体での取り組みを報告するコーナーです。

第21回目は、「平成30年度事業計画」です。



平成30年度事業計画。 年度の事業所運営の指針となる事業計画を作成いたしました。前年度の実績を踏まえ、「今すべきこと」を皆様にお伝えします。

特別養護老人ホーム

「生活の場であること」、「人としての尊厳が守られること」を念頭に置き、日々楽しみの時間がある穏やかな暮らしを提供できるよう、ご利用者一人ひとりにあった生活援助に努める。また看取りの対応を常に考え、ご利用者本人、ご家族と常に連携できるよう努める。

実習生を積極的に受け入れ、未来の福祉を担う人材を育成することにより、福祉人材の実践力の向上に資する。

施設運営を永続的なものにしていくために、収益向上のため新たな加算体制を獲得し、経営の安定化を目指す。

地域密着型

「その人らしさを大切に、また尊厳が守られること」を目標に掲げ、暮らしの場になっているか、落ち着いた雰囲気・環境になっているか、その人らしく生活できているかななどを常に考え支援する。

ボランティア活動など積極的に受け入れ、利用者地域社会との連携強化に努める。また、運営推進会議を効果的に活用し必要とされる施設の実現に努める

平素から防災関係設備・機器の整備点検を適切に行うとともに、定期的に避難訓練、防災訓練を実施し安全対策に努め入居者の安全対策や環境整備に努める。

ケアハウス

新しいことへのチャレンジを行い、より多くのご利用者の参加が可能となる行事を取り入れ、閉じこもり防止に努める。また、定期的な声掛けや訪問を行いながらご利用者との信頼関係を築き、相談しやすい環境作りに努める。

積極的に外部に情報提供を行い安定した稼働率を維持していきけるよう努める。

デイサービスセンター

在宅生活を継続する為、しっかりとしたアセスメントや潜在的なニーズを的確に捉えることにより、喜びを感じていただけるサービスを提供する。

個別機能訓練の実施でご利用者の意識と自信の向上へつなげる。

個別ケアを理解し共有できる専門職を日々の業務や研修参加により育成する。

グループホーム

季節感や楽しさを大切にした行事や食事に取り組む。毎月の家族へのお便りで日々の報告やニーズ把握などの情報を交換し、より良いサービス提供を目指す。

運営推進会議の充実に努める。

施設外の交流を継続し、認知症マイスターやボランティア等を受け入れる機会を通じて地域に貢献する。

居宅介護支援事業所

ご利用者が適切な療養環境で治療が受けられるように、介護保険のサービスや入院までの経緯など医療機関に早急に情報提供をする。在宅生活をするための目標を他職種で共有し、退院後も住み慣れた地域で安心して在宅生活が継続できるように支援する。



【希望も、要望も、苦情も。皆様のご意見をお待ちしています。】

様々な声をいただける事業所をめざし、少しでも声を発しやすい環境となるように「ふれあいポスト」活動を継続しています。